

小金井市GIGAスクール構想説明会でいただいたご質問に対する回答

番号	分類	質問	回答
1	活用方法	子どもたちがいろいろな価値観に出会い、成功失敗の経験を学習機会にしてい、懐の深さをどのように確保するのか興味があります。	【説明会で回答済】ご指摘のとおり、子どもたちの健やかな成長のために、GIGAスクール構想に限らず、学校の教育活動の充実に努めてまいります。これからは学校の先生の役割が大きく変わることになります。これまでの教育は、先生が考えているところに到達する、先生が立てた目標に到達することでした。しかし、これからの先行き不透明な社会を子どもたちがたくましく生きていくためには、これだけでは十分ではありません。先生が山の頂上において子どもたちに登ってきなさいというのではなく、これからは一緒に山に登っていこうという教師像の転換が必要になります。
2	活用方法	今時点で、NHKなどのテレビ番組の動画を見せた授業がされています。教育長のGIGAスクールの事例として、動画を見せるという部分は要点では無く、図書館に置ける本には限りがあるから調べようとなってもひとクラス全員分が用意出来ない、図書室に移動する時間で授業時間がロスするなどの物理的な制約が減るみたいな利点があるという内容に変更された方が良いのではないのでしょうか？ 興味を持った瞬間に時間的物理的な制約を受けないタイムリーなインプットが出来るとそこから子ども達の興味関心の糸が途切れにくくなり、興味関心のタネが生まれやすくなり、本でしか得られない知識を得たいという気持ちが生まれて図書室や図書館に行くなど主体的な学びに繋がる可能性が少し増えるのでは無いのでしょうか？	ご指摘のとおり、学校図書館に置ける本の物理的な量や、移動時間などの問題を改善するために、ICTを効果的に活用することができると思います。学校図書館の本の分類や配列等から、新しい情報を得られることも図書館活用の大きなメリットです。また、文学的文章は、本の装丁や挿絵、さらに紙の質感も作者の思いに思いに迫るための大切な情報であると考えます。よって、ICTは導入いたしますが、学校図書館の有効活用については、しっかり学習過程に位置づけていきます。
3	活用方法	欠席の連絡が連絡帳を他の児童に託す仕組みを早急に改善していただきたいです。また、学校と保護者のやり取りの手段が電話が第1選択で、その次にFAXや対面などの手段しか無いのを改善していただきたいです。ネット環境が各校に整備されるなら、メールを使えるようにして欲しいです。	学校と家庭の連絡につきましては、今後、検討していくことが必要な大切な事項と考えております。連絡におけるICT機器の活用につきましてもGIGAスクールの推進と合わせて、引き続き検討してまいります。緊急のお知らせ、重要なお知らせについては、スクールメールでの積極的な配信を行うよう促していきたくと思います。
4	活用方法	欠席連絡！確かに連絡帳を廃止して、メール等が使えるようになってほしいです。インフルの学級閉鎖もプリントで配布されて、メールが飛んでこない。働いている家庭では家に帰るまで学級閉鎖だと知る事ができません。	同上
5	活用方法	休校期間中に配信された動画、動画でやる必要が無かった物もあると思いました。動画は全てみるまで内容を把握する事が出来ません。動画を補助する資料や資料を見れば1分で理解出来る事を10分見ないといけない動画にしているなら、やり方の選択が間違っています。動画配信やって良かった評判良かっただけではなく、そのやり方で良かったのかの振り返りもお願いしたいです。	ご指摘のとおり、学校としても初めての試みであり、様々な課題があったことは確かです。今後、学校から提示する課題が適切であったかの振り返り、改善を図っていきたくと考えております。臨時休校中のオンライン課題に限らず、お気づきの点がございましたら、学校へお伝えいただくようお願いいたします。教育委員会といたしましても、学校とともに、改善に取り組ませていただきます。
6	活用方法	理科の授業でシミュレーションソフトの活用とありましたが、どのようなものを活用して授業を行うのでしょうか？具体的なシミュレーションソフトや具体例などを教えていただきたいです。	理科の授業で活用する「シミュレーションソフト」を様々なものがありますので、どれを活用するかは、これからの検討事項となります。現時点では、NHK for Schoolの動画やデジタル教科書等を想定した活用を考えております。

小金井市GIGAスクール構想説明会でいただいたご質問に対する回答

番号	分類	質問	回答
7	今後の運用ネットワーク	<p>説明会の内容全体が総論的・概念的であり、具体的な取組内容の説明が不足していたことと、教員のICTスキル不足を「いまは仕方ない、これから頑張る」というのんびりとした感覚で説明されていたことが残念でした。ICTの分野における技術革新・活用方法等の進歩スピードは他の分野とは異次元的に速いなか、重要なことはハードを整えることではなく、利用シーンとしてICTを使いこなす・活用することと考えています。そのような考えのもと下記の質問をさせていただきます。</p> <p>①GIGAスクール構想を推進していく具体的なアクションプランとプランごとのスケジュール感及びKPI設定はどのようになっているのか？</p> <p>②教員のスキル向上は、現在の教員みなさんの業務量を考慮すると現実的にはスキルアップの研修時間等の捻出＝スキルアップは難しいと思います。GIGAスクール構想を推進するためにも教員・学校運営自体のICT化・働き方改革により教員のスキルアップに必要な時間を捻出するべきではないでしょうか？</p> <p>③GIGAスクール構想の垂直立上げのために外部リソース(企業)はどのように活用するのでしょうか？説明の中にあつた教員自前で事例を蓄積・共有して成功事例を作る状況ではないと思います。</p> <p>④GIGAスクール構想のハード面はどのようなNWを構築するのでしょうか？また、そのNWは災害時等、有事の際は地域に開放されるのでしょうか？学校は教育の場と同時に地域の重要拠点であると考えます。</p> <p>以上、よろしくをお願いします。</p>	<p>①アクションプランごとのスケジュール等については、現在策定中であり、決定次第、ホームページ等で公開していきます。目標達成の度合いにつきましては、実態把握を通して分析していく予定です。</p> <p>②教員のICTスキルの向上は教育委員会としても大事な視点であると考えます。教員のChromebookのスキルアップのための研修は、一定の時間を有するものであり、授業に支障の無いように、長期休業中の開催で調整しております。</p> <p>③GIGAスクール構想の実現に向けて、学校と行政だけでなく、企業のもつノウハウや指導も必要なものです。現在、各学校の現状を踏まえ、企業の協力について慎重に検討しております。</p> <p>④学校に整備するネットワーク環境は、セキュリティの面から、原則として教育委員会内で閉じており、地域には公開されておりません。しかし、災害時や非常時において活用できるかどうかにつきましては大変重要な事であると認識しております。前向きに検討を進めてまいります。</p>
8	通信環境	リモートで家庭とつなぐにあたり、通信環境が心配です。費用面や技術のサポート体制についてはどの様にお考えでしょうか？	【説明会で回答済】これまでインターネット環境が整っていないご家庭には、ルーター等の貸し出しも行っていました。今後、再び臨時休校になったときには、学校の体育館や教室等で感染症防止対策を行った上で、インターネット環境を使って学習を進められるようにしていきたいと考えています。また、様々な課題等は、オフラインでも学習をする進めることができますので、家庭学習においてインターネット環境が整ってなくても学習を進めることはできます。
9	通信環境	学校が仮に再度休校になったときに「学びを止めない」ためにPCがあるのはインフラとして重要ですが、Wifi環境がない家庭への支援はどう考えておられるのでしょうか？	同上
10	Chromebookの活用	教室で40台同時に動画を再生すると、それぞれのクロムブックから音声が出てしまい、動画の内容を理解するどころではなくなってしまう(うるさくて聞き取れない)ことはないのでしょうか？イヤホンなどを使用するのでしょうか？	【説明会で回答済】ご指摘のとおり、各自のペースで動画を視聴する際に聞き取りやすくするためには、イヤホンなどが必要だと思います。感染症対策の点からイヤホンの共有はできないと思いますので、学校でまとめて購入するか、家庭にあるものを持ってきて使用するなどの対応をしていきたいと思っています。
11	Chromebookの活用	14:05「3情報共有共同学習」について、体育→撮影した動画を見返す、とありましたが、Chromebookはインカメラしかないので、動画撮影がやりづらいです。ビデオ撮影に特化したデバイス(ネットにつながるiPadなど)も各クラスに欲しいのですが。(以前配られたiPadはネットにつなげられなくて、でもなぜか前原小だけはiPadもネットが使えるとも聞きました。このあたりも謎です。)	今回新しく整備しましたChromebookにはアウトカメラを装備しました。学校の先生方がChromebookを活用する際に不都合に感じている点につきましては、改善していけるよう取り組んでまいります。

小金井市GIGAスクール構想説明会でいただいたご質問に対する回答

番号	分類	質問	回答
12	Chromebookの活用	配られているChromebookが非常に故障が多く、三小では40台のうち30台が使えない状態になったと聞きました。そんな耐久性の低いものを配っても、結局故障で長いこと使えなかつたら困るのですが、予備機や迅速に修理対応する人員なども潤沢に準備されているのでしょうか？	今回の不具合については、会社を上げて原因究明に取り組んでいただいております。教育委員会といたしましても、迅速な対応を求めているところです。また、コンピュータの故障等に備え、予備のコンピュータも準備しております。機器の故障の際には、緊急対応として GIGAスクールサポーターを学校に派遣し対応を図ってまいります。
13	Chromebookの活用	・クロムブックの持ち帰り可能とのことですが、子供が扱うので壊したり無くしたりした場合の代替品の用意はありますか？ ・クロムブックのウイルス対策は？ 自宅で使っている USB機器から感染することは考えられませんか。 情報漏えいしてからでは取り返しが付きません。	児童・生徒がChromebookを自宅に持ち帰る際には、学校において、破損や水に濡らさないことを指導します。やむを得ず破損等がおきてしまった場合は、担任の先生にその旨を伝えてください。予備機と交換いたします。但し、故意の破損が判明した際は、弁償して頂く場合があります。学校で使用している Chromebookですが、USBの使用は教育委員会の設定で使用制限するため、使用できません。また、家庭で使用した際も、ウイルスの侵入対策については、 googleのセキュリティにより保護されております。学校においても、 Chromebookの扱い方、情報モラルの教育について指導を十分に行ってまいります。
14	Chromebookの活用	日々の仕事と変わらない内容なので違和感なく拝聴しました。認知特性の話は大変興味深く家族でやってみます。 宿題もChromebookで行う事を予定していますか？パソコン購入検討してお MS officeを使うのか、そもそも自宅パソコンが必要か知りたい。OSが違うとこちら側が戸惑う。 出来る子はより出来るようになる一方取り残される子との格差が助長される感があり対応策を施して欲しい。また認知特性にあった授業、さらに、教科選択やクラス分け迄踏み込んで貰えると良い。	学校から提示する課題は、まなびポケットや G Suiteによって提示しますが、Chromebookでないコンピュータでも課題に取り組むことができます。準備や環境が整い次第、家庭への Chromebookの持ち帰りも実施していきます。授業における Chromebookの効果的な活用が、子どもたちの学習への興味・関心を増大させ、学習内容の理解を進めると考えております。認知特性に応じた授業や教科選択等については、専門家の方からのご指導を受け、今後研究してまいります。
15	Chromebookの活用	より楽しい学習ができそうだと思いますが、具体的にどの小中学校がいつからこの学習ができるのでしょうか。決まっていたら教えてください。	全児童・生徒分の Chromebookの配置は令和2年9月末に完了し、各学校のネット環境の整備は令和2年12月中旬に終了します。各学校において、設定等の準備が整い次第、 Chromebookを活用した授業を始めていきます。
16	説明の内容	日本にはコンピュータを使った教育を出来ている人が存在しないと切り切れる根拠は何ですか？	確かに、全国ではコンピュータを活用した様々な取り組みが紹介されています。しかしながら、一人一台のコンピュータを活用した授業が始まるのは、公立学校ではこれからです。今回、日本にはコンピュータを使った教育ができていない人は存在しないという意味は、「予想困難な時代を自分らしく生きる力を付けるために ICTの活用をしている人はいない。特に今回、認知特性に応じた個別最適な学びを推進すること、ICTを活用することによって知識獲得の時間を効率化するとともに、準備の時間の削減を明言したのは、今回が初めてであると思います」、その意味で、この様な使い方をしている人はいないという言い方をしました。丁寧に説明すべきであったと思います。ご指摘ありがとうございました。

小金井市GIGAスクール構想説明会でいただいたご質問に対する回答

番号	分類	質問	回答
17	説明の内容	<p>大熊教育長が「日本にコンピュータを使った教育ができる人がいない」と言い切っていたのですが、おそらく教育長が伝えたい言葉がうまく伝わっていない気がします。</p> <p>コロナ禍では、私立は早々にオンライン授業に切り替えていましたし、公立校でも導入しているところはあり、「小金井市は遅れているね。やばいね」という話を保護者間でしていました。</p> <p>正直、小金井市はICT教育にかなり遅れていると思います。</p> <p>おそらく大熊教育長がおっしゃりたいのは、オンライン授業ではなく、ICTをさらに深めて使うという意味なのだと思いますが、誤解がないように、もう少しご説明されたほうがよいような気がします。</p>	<p>ありがとうございます。その通りです。新型コロナウイルス感染症対策として、学校が休校になりました。その際、小金井市では、できる限りの対策は実施してきたつもりではありますが、「ICTを活用した学びを止めない取組」は十分できなかったと認識しております。</p> <p>この様な対応がしっかりできなかったのが先進諸国では日本だけであることが、今回の取組を加速させた原因の一つです。現在の時点で一人一台のコンピュータ環境の整備に全力を尽くしたのは、再度休校になったときの対策という面もありました。</p> <p>「日本にコンピュータを使った教育ができる人はいない」という意味は、「予想困難な時代を自分らしく生きる力を付けるためにICTの活用をしている人はいない。特に今回、認知特性に応じた個別最適な学びを推進すること、ICTを活用することによって知識獲得の時間を効率化するとともに、準備の時間の削減を明言したのは、今回が初めてであると思います」、その意味で、この様な使い方をしている人はいないという言い方をしました。丁寧に説明すべきであったと思います。ご指摘ありがとうございます。</p>
18	説明の内容	<p>○GIGAスクール構想で掲げられていること「先行き不透明な時代に自分らしく生きていくための力を付ける」というのは理解できますが、そもそもの大きな教育目標であり、コンピュータ導入だけではない面での実現が必要ではないでしょうか。今回はGIGAスクール面での説明でしたが、それより上位概念の教育目標においてのGIGA以外の取組説明がありませんでした。GIGAスクールに取り組みば(実現すれば)万事OKということなのでしょう吗？</p>	<p>今回のGIGAスクール構想は、小金井市教育委員会の掲げている教育目標の中でも、特に「自ら学び協働して問題を解決していく、創造力豊かな人」の育成のための取り組みであります。本説明において、教育目標との関連をもう少し詳しく説明すればよかったと思っております。</p>
19	説明の内容	<p>GIGAスクールが始まる事で、リアルとバーチャルをどう組み合わせていくのかそれぞれやり方のメリットやデメリット、相互作用などの体系だった図や整理された説明が無く、教育のどの場面で何をどう使うかは教師に丸投げして考えさせる形でスタートするのでしょうか？</p>	<p>教育委員会といたしましては、市内すべての市立小・中学校において、児童・生徒が笑顔いっぱい、わくわくいっぱい、授業に取り組めるよう、授業改善の指導を行ってまいりました。授業実践につきましても、一人ひとりの教員が創意工夫し、素晴らしい実践を積み上げてきたというこれまでの経緯があります。授業等でのICT機器の効果的活用につきましても、教員の授業研究の独自性を大切にしていきます。教育委員会といたしましては、各学校への随時訪問における指導・助言を通して、授業作りをバックアップさせていただきます。</p>
20	説明会 著作権	<p>教育長のスライドに使用されていた、サントリーの動画、サントリーに説明会で使用する事について事前に許可を得られていますか？</p> <p>市職員が有料画像素材のプレビュー画像を利用して使用料を払わずに説明資料を作っていたりされます。著作権についての職員教育と無料で使用可能な素材の情報や権利確認方法について教育・啓蒙が必要だと感じています。</p>	<p>【説明会で回答済】今回使用したスライドに使用した資料は、すべて著作権について事前に確認を取っています。また、出典はすべて明らかにしております。</p> <p>これまで学校の授業においては、著作権がフリーになることもあり、学校における著作権の取り扱いについて、認識の甘さが見受けられる面もありました。動画配信等においては、授業と異なり、著作権についてしっかり担保する必要があります。今後とも、著作権など情報モラルに関する理解促進、教員研修の充実に努め、著作権侵害にならないように努めてまいります。</p>
21	著作権	<p>動画中に挿入されている体育の授業のハンドクラップのBGMなど、著作権の許可はしっかり得られているのでしょうか。</p>	<p>学校の教育活動として使用したもので、問題ないという認識でございました。念のため、今回の動画配信の方法についてJASRACに問い合わせをしたところ、許諾や手続きは不要とのことでした。なお、小金井市教育委員会では、SARTRASの授業目的公衆送信補償金制度への申請をしております。</p>
22	不登校	<p>この構想では、タブレットの使用は学校のみ。持ち帰りはできないと噂で聞きました。不登校の生徒は自宅から参加することはできないのでしょうか？</p>	<p>【説明会で回答済】今後、長期の臨時休校が起こったときや、不登校の児童・生徒への学習支援の手立てとして、必要に応じてコンピュータの貸し出しを考えています。その後、子どもたちの情報リテラシーや保護者の理解を得た上、家庭の持ち帰って課題等に取り組めるようにしたいと考えております。</p>

小金井市GIGAスクール構想説明会でいただいたご質問に対する回答

番号	分類	質問	回答
23	不登校	不登校児童・生徒への対応はどうなっているのでしょうか？	不登校の児童・生徒への学習支援の手立てとしては、必要に応じてコンピュータの貸し出しを考えています。
24	学校間の格差	ネットに疎い学校ではコロナ禍では遠隔授業もありませんでした。小金井市の中でも格差ができています。できていない学校へのサポートはありませんでした。できている学校ばかり紹介しないで、できていない学校をどうサポートするかも教えてください。	今後、全ての市立小・中学校で ICT機器が十分活用されるよう、教員研修を実施し、授業実践の共有が図れる構想を計画しています。今後、小金井市のホームページ「GIGAスクール構想の推進」から、市内全校の「GIGAスクール」ページにリンクを貼る予定です。また、GIGAスクールサポーターによる各学校の Chromebook運用の支援を充実させます。
25	学校間の格差	子どもがすること(授業内容)でなく、システムとして学校(教員)格差、家庭の環境格差をどのようにフォローしていくのか、職員のスキルアップをどのように評価してフォローしていくのかを聞きたいです。	国が、教員の ICT活用に関する実態調査を、毎年、全教員に対して実施しています。これらの調査結果を小金井市教育委員会としても把握し、今後の教員研修の指導内容の参考とさせていただきます。また、必要に応じて、市教委独自の実態把握調査を実施することも検討していきます。また、教員研修の内容についても、GIGAスクール構想の専用ホームページに掲載していく予定です。
26	学校間の格差	現在、小金井市内の小学校での ICT活用状況に差があるように感じていますが、今後タブレットが1人1台になったら、全校足並みがそろうのでしょうか？	休校期間中の各学校のオンラインによる取組に違いがあり、差があったことは認識しております。効果的であった取組については、他校にも紹介し、今後の各学校の取組の参考とすることとしました。今後は、教員研修や授業実践を共有できるような場の設定を計画しています。また、GIGAスクール構想の一定の実現のために、GIGAスクールサポーターを学校に派遣します。
27	学校間の格差	学校によって休校期間中のオンライン対応がかなり違う事を知りました。進んでいる学校との差はどの様に埋めるのでしょうか？ ICT機器を利用した授業への提案、協力はどの様に申し出れば良いのでしょうか？	休校期間中の各学校のオンラインによる取組に違いがあり、差があったことは認識しております。効果的であった取組については、他校にも紹介し、今後の各学校の取組の参考とすることとしました。今後は、教員研修や授業実践を共有できるような場の設定を計画しています。また、GIGAスクール構想の一定の実現のために、GIGAスクールサポーターを学校に派遣します。ICT機器を利用した授業への提案や協力の申し出、ありがとうございます。ぜひご協力いただければと考えております。ただし、その内容の確認をさせていただきたいと思っておりますので、一度、学校にご相談いただけるようお願いいたします。
28	運用課題	ペースメーカーを使用している子がいます。どのように配慮されるのでしょうか。	学校では、一人ひとりの児童・生徒の身体的配慮について、できる限り行っていきます。心配な事があれば、具体的にどのような点で配慮が必要かについて、学校に相談していただきますようお願いいたします。
29	運用課題	GIGAスクール構想を進めていく上で、懸念される点、子どもたちにとってマイナスな点はどのようなことがあると想定されているのでしょうか。 また、それに対する対応策はあるのでしょうか。	【説明会で回答済】視力、ストレートネックなど心配な点はたくさん考えられます。そのため、コンピュータの使用は必要最低限にすることが大事であると考えております。休み時間など外で遊ぶことも大切です。教員が子どもたちの様子や実態を把握しながら、どのようにコンピュータを活用していけばよいか、教育委員会としましても考えてまいります。
30	運用課題	お話はメリットばかりでしたが、問題点としてどのようなことがあると認識していますか。	【説明会で回答済】視力、ストレートネックなど心配な点はたくさん考えられます。コンピュータの使用は必要最低限にすることが大事です。休み時間など外で遊ぶことも大切だと考えます。教員が子どもたちの様子を見ながら、どのように対応していけばよいか考えていきたいです。

小金井市GIGAスクール構想説明会でいただいたご質問に対する回答

番号	分類	質問	回答
31	運用課題	<p>『子どもを真ん中に』が大切です。子どもは 置き去りになっています。</p> <p>◎無線LANでの機器をつかうことでの身体への悪影響に責任はとれますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○頭蓋骨が柔らかい子ども達への脳への影響 ○頸椎や目への悪影響 ○依存性 <p>※百歩譲り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電磁波の量を各教室させていただきます。 ○手で無線LAN電源ボタンを各教室用意し使わないときは電源ON/OFFできるように。 ○タッチペン使えるように。 <p>◎ギガスクール構想で遅く生きる力、未来を自分らしく生きる力がつくとは思いません。</p> <p>不登校は増え障害ある子で必要な子には必要だけど知的障害の子は置き去りになりますね。どのように考えますか？</p> <p>◎ベテランの経験ある教員からしっかり話を聞いていただきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次世代推進委員 この名称には意義あります。 <p>◎ギガスクール以前に、みえない いじめ 不登校 若者の自死 これはギガスクールで益々増える気がしてなりません。 このことはどのように考えますか？</p>	<p>ご指摘のとおり、子どもを真ん中に、ということは大切なことです。子どもたちに豊かな体験をさせたい、しかし同時に多くの知識を子どもたちが身に付けなくてはいけない、そのためには、どのようにしたら子どもたちが効率的に知識を身に付けながら豊かな体験ができるのかを考えていく必要があります。これからの時代に生きる子どもたちが自分らしく生きていくためにはどのようにしたらよいかということを中心に考えております。</p> <p>今回のGIGAスクール構想としての提案が全てであるとは思っていません。特別支援学級の児童・生徒にとっても、笑顔でわくわくいっぱい授業にのぞめるよう、Chromebookの効果的な活用について今後も研究を続けていきます。</p> <p>現在、学校へ行けずに悩み苦しんでいる子どもに対しても、学校が保護者と継続的に面談を続ける中で、Chromebookの貸し出しについても準備を進めていきます。教育委員会といたしましても、一人一人の社会的自立を学校とともに支援していきます。</p> <p>無線LANの活用については、環境省 環境保健部 環境安全課が平成29年4月の「身のまわりの電磁界について」にまとめられており、その中で、WHOの見解も述べられております。小金井市教育委員会では、それらに基づいて運用してまいります。</p>
32	教員の支援体制	<p>○教育長の理念は素晴らしいです。...ただし、現場の実態と乖離していると感じます。それをどのように埋めていくのか、ご教示願えませんか？具体的には、①専門の人員体制、②教育体制、③学校の差をどう埋めるのか、④教員の活用の差をどう埋めるのか、⑤理想通りに近づいて運営できているのかのモニタリングは第三者機関に依頼してやるのか。</p>	<p>今後、全ての学校で十分活用するよう、教員研修や授業実践を共有できるような場の設定を計画しています。ご指摘の通り、コンピュータを導入するだけではなく、現在、各校で実践されている様々な教育活動も合わせながら、児童・生徒の健やかな育成を目指していきたいと考えています。また、教員向けの支援員を増員する予定です。学校の差は大きな問題と捉えております。そのことに対応するために、各学校の取組状況を共有し、各先生方がそれらを参考に様々な工夫ができるようにしてまいります。コンピュータの活用に関しては、子供の実態等に応じて進める面もありますので、第三者によるモニタリングは現在のところ考えておりません。</p>
33	教員の支援体制	<p>・生徒の使い方ばかりではなく、先生方が、これからどのように勉強し、実践に結びつけていくのか、それをフォローする体制について聞きたいです。</p> <p>・仮にまた一斉休校になったときや、現在不登校の子どもに、どう活かしていけるのか聞きたいです。</p>	<p>今後の先生方へのフォロー(研修の実施)としましては、市のホームページにも掲載しておりますが、各校において、Google for Education Kickstart Programによる研修を受講した教員が、校内で還元研修を実施します。再び長期の臨時休校になったとき、また、不登校児童・生徒への学習支援の手立てとして、コンピュータの家庭への持ち帰り(貸し出し)を検討しております。</p>

小金井市GIGAスクール構想説明会でいただいたご質問に対する回答

番号	分類	質問	回答
34	教員の支援体制	教師が事例を学びに行く時間は確保されるのでしょうか？ 代表教師を各校最低でも一名ずつつけて1年間は担任を持たず、GIGAスクール推進担当に任命して、実践例を学びに行く時間や最新ツールの体験機会、各校の代表教師が集まって進め方の話し合いやフィードバックを行う時間を確保出来ないで無料では無いでしょうか？	貴重なご意見ありがとうございます。実践事例を効果的に共有するために、一人ひとりの教員が自分の実践を公開(共有フォルダに保存)し、他校の教員であっても、いつでも閲覧、必要な時に活用できるようにします。今年度から、各校においては、学校長が次世代教育推進委員を任命しており、校内での推進役を担っています。市教育委員会主催の研修会は、集合研修を基本としておりますが、必要に応じてオンラインでの研修やオンラインでの情報交換を合わせて実施いたします。
35	教員の支援体制	コロナ期間の1小のスクールタクトを体験しましたが、アップされる動画形式がしばらく movでアップル社製品のユーザーでないと見れず、別途閲覧する為のソフトやアプリが必要な物でした。 GIGAスクール実施にあたっては、教師に手探りでやらせるのでは無く専門の職員をしっかりと配置し基本的な事項については一斉にインプットする必要があると思います。	コロナ禍における遠隔授業は、突然であったこともあり「できるところからやってみる」ということで、学校独自の取り組みになってしまいました。そのため、様々な面でご迷惑をおかけすることになってしまいました。 今後は、Chromebookの基本的な操作や知識の獲得については、教員のオンライン研修、集合研修、還元研修を令和2年度中の実施を計画しております。今回の休校期間におけるオンラインの活用により、様々な課題が見えてきました。GIGAスクール構想の実施にあたり、GIGAスクールサポーターと連携しながらアプリの使用方法等についても研修で取り扱うよう計画してまいります。
36	教員の支援体制	せっかく良いパソコンを導入するので、日常的に子供も先生方も活用して欲しいと思います。日常的に使うことでスキルアップし、より効率的に学習を進められるようになると思います。毎日活用するために授業以外での方策は何かありますか。また、導入に向けた先生方の研修はどのように行っているのですか。	まずは、教員がいつもChromebookを傍に置いておくという意識が大切だと考えます。その意識付けを校内で日々指導できるように、毎月開催の校長会を通して、管理職の意識改革を図っていきます。教員研修の実施や研修計画につきましては、小金井市のホームページの「小金井市 GIGAスクール構想の推進」にも紹介していきたくと思います。
37	教員の支援体制	子どもたちが主体的に学びながら正解の無い問いにも答を見つけていくのは素敵だと思いますが、この時に、教員の役割は、これまでの「教えて育てる」ではなく、「共に育む」に変わって行くことになると思います。 この時に、先生は、「自分が導く」から「子どもに任せる。子どもを信じて待つ。」へのマインドシフトが必要になると感じますが、これをどう進めていきますか？	新学習指導要領において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められております。現在も、様々な研修を実施し、教員の授業に対する意識が、子どもたちが主体的に学ぶ授業へ変わってきていると感じております。教育委員会といたしましては、引き続き「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、学校への指導を継続していきます。
38	情報モラル	ネット上の情報が必ずしも正しいものではない可能性があると思うのですが、情報を取捨選択する力は学校で指導をしていただけるのですか？またそのような授業(教科)はあるのでしょうか？	情報モラルに関する指導は、各学校において、これまで実施しておりますが、指導の重要性が今後一層増していくものと考えております。情報活用のみを扱う教科はありませんが、各教科において情報活用を意識した活動が行われております。情報モラル、情報の収集、情報の取捨選択、情報の発信等について、様々な教科において指導してまいります。
39	前原小との比較	なぜ前原小だけ Chromebookの他にiPadなどもインターネットが使えるのでしょうか？	前原小学校では、以前から本市の研究校としてプログラミング教育の研究を推進してきました。そのため、当時の研究で活用していた iPadが現在でも使用できる環境になっております。
40	その他	市内小中学校以外の学校に通う市内在住の児童や生徒について、端末の貸与はどのようになさる予定でしょうか。	今回の小金井市 GIGAスクール構想は、市立小中学校に在籍する児童・生徒を対象としております。文部科学省は、私立や国立の学校向けの GIGAスクール構想の補助も行っていきます。詳しくはお子様がお通われている私立や国立の学校にお問い合わせください。
41	その他	電子教科書の検証、開始時期はいつくらいでしょうか？	デジタル教科書の導入については、現在、学校の意見を聞きながら、検討しているところです。令和3年度のスタートに合わせて、必要性の高い教科からデジタル教科書の順次導入を検討しています。

小金井市GIGAスクール構想説明会でいただいたご質問に対する回答

番号	分類	質問	回答
42	その他	第1小学校の事例の1番最初がJ-COMに放送してもらった内容で、なぜ？と疑問に思いました。J-COMは加入者じゃないと見られませんよね？違いますか？	スマホ等のアプリで過去の放送分を視聴することができます。J-COMに加入していない方も、アプリ「ど・ろーかる」にて視聴することができました。
43	Googleとの契約	Chromebookを活用するということは、Googleのクラウドに情報が預けられる事になるのですが、利用許諾などのEULAの契約主体は誰になるのですか？保護者ですか？子ども自身ですか？	Googleとの利用許諾については、契約主体は教育委員会となります。Google社のサービスにある「G suite for education」は、教育の範囲内で使用するものであり、教育委員会の管理のもとで使用しております。児童・生徒本人が自由に使えないように設定もしております。今後、各ご家庭(保護者)から承諾を取ります。GIGAスクール構想を進めていくにあたり、ご理解・ご協力をお願いいたします。
44	電子図書の活用	1人1台PC・タブレットが導入されることにより、電子図書館との連携は考えられていますか？また朝読などの活動を、PC・タブレットを利用し、電子図書館経由で行うことはありえますでしょうか？	現時点では、電子図書館との連携はできておりませんが、今後、市立図書館においても電子書籍が導入されることから、活用等につきましては、前向きに検討してまいります。
45	スマホの持ち込み	現状、小学校へのスマホの持ち込みは禁止されていますか？	原則として、禁止しております。
46	民間連携	地方自治体でのICT推進は差があるのが常だと思えます。ましてや業務だけでなく、教育用途となるとさらに後手に回ってしまう印象があります。自前でのエキスパート育成が難しいのは理解できますので、民間の力も借りながら進めていただきたいと思います。	小金井市GIGAスクール構想の実現に向けて、全教員が同じ認識・理解のもと、研修等を通して専門性の向上を図っていく必要があります。今後、民間企業のノウハウや指導、学校の教育活動に協力していただける地域の方々の協力も必要となってきます。今後、国や東京都の動向に注視し、十分に検討していきます。
47	受験との関係	受験との関係性ははどうでしょうか。	昨年度実施した全国学力・学習状況調査では、中学校英語においてコンピュータを活用したスピーキングテストを実施しております。また、国際学習到達度調査(PISA)では、コンピュータ使用型調査が導入されております。東京都入学者選抜においても、英語においてコンピュータを活用したスピーキングが導入される予定です。今後ICTの活用は一層広がっていくものと考えられます。
48	説明会	配信で観ているのですが、音量を最大にしてもほとんど聞こえません。	ご不便をおかけしたようで、申し訳ございませんでした。動画配信はしばらくの間見られるようにしておりますので、そちらで再度ご覧ください。URLは、市のホームページに掲載しております。
49	説明会	手話通訳は無かったのか。参加者が特定されていないのであれば設置されるべきだった。若しくは告知チラシ等に手話通訳が必要な場合は申し出を促す旨の記載が必要だった。	ご指摘のとおり、手話通訳等、様々な方に今回の説明会にご参加いただけるような配慮が必要だったと思います。今後の参考にさせていただきます。
50	市職員のICTスキル	今回の説明会、IT導入がメインなのにネット配信がないのが気になっていました。その後、保護者の方々の力を得て、ネット配信が可能になったと伺いました。力量のある保護者の方々のお力を借りれるのは非常にありがたいことです。 ただ、これからIT導入を進めて行く市なのに、これらの配信をできるだけの人材が、小金井市の職員にいないのが気になります。教職員の方々はネットに詳しくない方もいると思います。保護者も戸惑うと思います。この構想を進めて行く中で、小金井市はどのように人材を揃えて配置する予定でしょうか？	今後は、ICT機器の導入にあたり、小金井市職員の専門性の向上を図っていく予定です。小金井市のよさは、地域の方々が学校に対して非常に協力的であることです。今後も地域の方々に、小金井市の子どもたちが健やかに成長していくために、ご協力いただきたいと思います。